BUFFALO　35010407 Ver.02 2-01　C10-013

らくらく! セットアップシート　WLI-UC-G マニュアル

このたびは、本製品をご利用いただき、誠にありがとうございます。本製品を正しく使用するために、はじめにこのマニュアルをお読みください。お読みになった後は、大切に保管してください。

セットアップをおこなう前に

・本製品のパッケージ内容は、外箱に記載されています。
・本製品の保証書は別紙「安全にお使いいただくために必ずお守りください」に印刷されています。本製品の修理をご依頼いただく場合に必要となりますので、本紙とともに大切に保管してください。
・追加情報が別紙で添付されている場合は、必ず参照してください。
・最新の製品情報や対応機種については、カタログまたはインターネットホームページ(buffalo.jp)を参照してください。

本製品を親機に接続して使うには
本紙「セットアップしよう」を参照してセットアップしてください。

本製品を親機として使いゲーム機をつなぐには
CD-ROM「WLI-UC-Gシリーズ設定CD」内の「ゲーム機をつなぐには」を参照してセットアップしてください。
※「補足情報」の「「ゲーム機をつなぐには」の読み方」参照。

セットアップしよう (Windows XP編)

無線子機をパソコン(Windows XP)に取り付けてドライバーおよびユーティリティーをインストールします。
※無線子機は、画面に取り付け指示が表示されてから、取り付けてください。先に取り付けると、「新しいハードウェアの検出ウィザード」が表示されます。その場合は、[キャンセル]をクリックして、無線子機を取り外してください。

❶ パソコンを起動します。

❷ 添付のCD-ROM（WLI-UC-Gシリーズ設定CD）をパソコンにセットします。
しばらくすると、エアナビゲータが起動します。

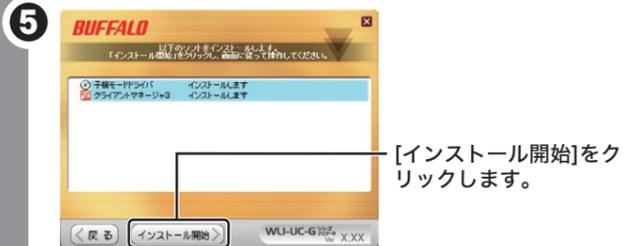
❸

「かんたんスタート」をクリックします。

❹

「子機モードでインストール」をクリックします。

❺

[インストール開始]をクリックします。

右上へつづく

❻ 画面にしたがって、インストールをおこなってください。

❼ しばらくセットアップを続けると、下の画面が表示されます。

●AOSS™またはWPSプッシュボタン式対応の無線親機と自動接続する場合
「自動セキュリティ設定」をクリックした後、画面にしたがって無線親機のAOSSボタンを約３秒間押し続けてください。
⇒AOSSまたはWPSプッシュボタン式での接続手順やAOSSボタンについては、お使いの無線親機のマニュアルを参照してください。

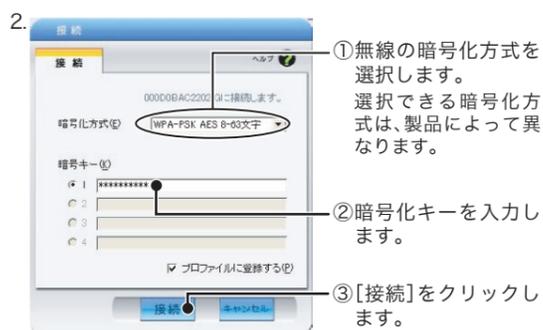
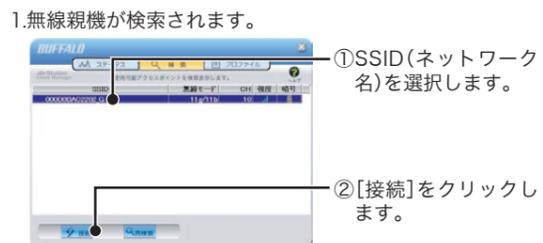
画面にしたがって、セットアップを続けてください。インターネットに接続できたら、設定完了です。

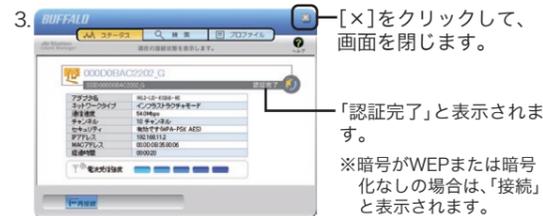
●無線親機を手動で検索して接続する場合
「手動設定」をクリックした後、無線親機に接続してください。
⇒詳細な手順は、下記を参照してください。
※事前に接続する無線親機のSSIDと暗号化キーを調べておく必要があります。
無線親機のマニュアルを参照してください。

1.無線親機が検索されます。

①SSID(ネットワーク名)を選択します。
②[接続]をクリックします。

2.

①無線の暗号化方式を選択します。
選択できる暗号化方式は、製品によって異なります。
②暗号化キーを入力します。
③[接続]をクリックします。

・この接続をプロファイルに登録する場合は、「プロファイルに登録する」のチェックマークをつけて、[接続]をクリックします。
・暗号化方式が「WEP」の場合は、通常、「１」の欄に暗号化キーを入力します。

右上へつづく

3.
[×]をクリックして、画面を閉じます。
「認証完了」と表示されます。
※暗号がWEPまたは暗号化なしの場合は、「接続」と表示されます。

※無線親機との距離が近すぎるとスループットが落ちる場合があります。通信時は、親機と30cm以上離してお使いください。

画面にしたがって、セットアップを続けてください。インターネットに接続できたら、設定完了です。

セットアップしよう (Windows Vista編)

無線子機をパソコン(Windows Vista)に取り付けてドライバーおよびユーティリティーをインストールします。
※無線子機は、画面に取り付け指示が表示されてから、取り付けてください。先に取り付けると、「新しいハードウェアが見つかりました」が表示されます。その場合は、[キャンセル]をクリックして、無線子機を取り外してください。

❶ パソコンを起動します。

❷ 添付のCD-ROM（WLI-UC-Gシリーズ設定CD）をパソコンにセットします。

注意　以下の画面が表示されたら？

「Setup.exeの実行」をクリックします。
[続行]をクリックします。

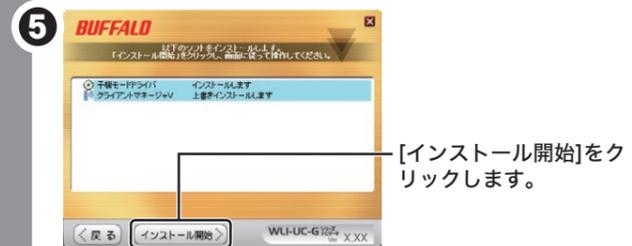
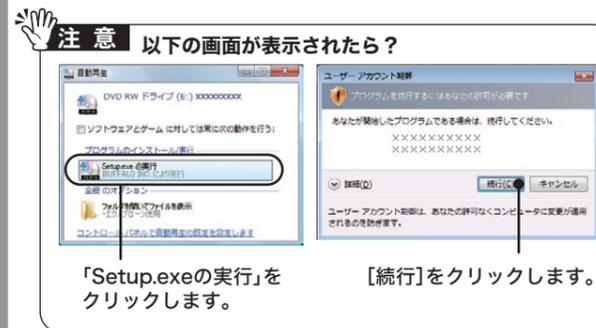
❸

「かんたんスタート」をクリックします。

❹

「子機モードでインストール」をクリックします。

❺

[インストール開始]をクリックします。

右上へつづく

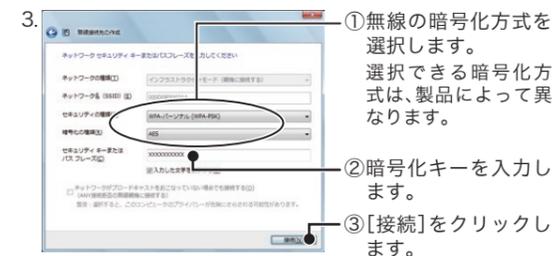
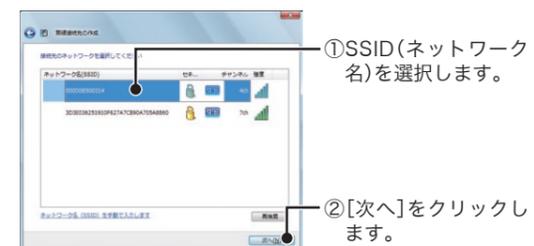
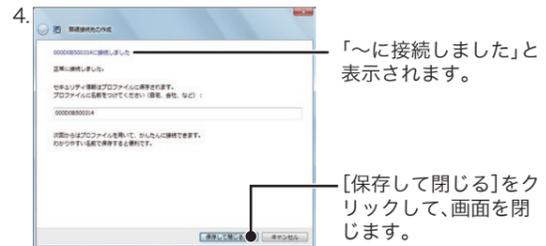
❻ 画面にしたがって、インストールをおこなってください。

❼ しばらくセットアップを続けると、下の画面が表示されます。

●自動セキュリティ設定で接続する場合
(AOSS™またはWPSプッシュボタン式に対応した無線親機と接続する場合)
「自動セキュリティ設定」をクリックした後、画面にしたがって無線親機のAOSSボタンを約３秒間押し続けてください。
⇒AOSSまたはWPSプッシュボタン式での手順やAOSSボタンについては、お使いの無線親機のマニュアルを参照してください。

画面にしたがって、セットアップを続けてください。インターネットに接続できたら、設定完了です。

●無線親機を手動で検索して接続する場合
「手動設定」をクリックした後、無線親機に接続してください。
⇒詳細な手順は、下記を参照してください。
※事前に接続する、無線親機のSSIDと暗号化キーを調べておく必要があります。
無線親機のマニュアルを参照してください。

1.手動設定の接続方法を選択します。

「セキュリティ情報を手動で入力して接続」を選択します。

2.無線親機が検索されます。

①SSID(ネットワーク名)を選択します。
②[次へ]をクリックします。

3.
①無線の暗号化方式を選択します。
選択できる暗号化方式は、製品によって異なります。
②暗号化キーを入力します。
③[接続]をクリックします。

裏面へつづく

4.

「〜に接続しました」と表示されます。

［保存して閉じる］をクリックして、画面を閉じます。

※無線親機との距離が近すぎるとスループットが落ちる場合があります。通信時は、親機と30cm以上離してお使いください。

画面にしたがって、セットアップを続けてください。インターネットに接続できたら、設定完了です。

困ったときは

●無線子機のドライバーがインストールできない場合（ランプが点灯・点滅しない）

⇒無線子機を下記の手順で再インストールしてください。

1.付属CD-ROM「WLI-UC-Gシリーズ設定CD」から「オプション」－「ドライバの削除」を実行して無線子機のドライバーを削除します。

2.無線子機をパソコンから取り外して、パソコンを再起動します。

3.再度、「セットアップしよう」を参照して、セットアップをおこないます。

●<USB対応無線子機をWindows XP SP1でお使いの場合> ドライバーがインストールできない（「失敗しました」と表示される）インストールできても数分後に無線接続が切れて使えなくなる

⇒ご利用のパソコンに、Microsoft社提供のWindows XP SP1用USBドライバー修正モジュール（KB822603）をインストールするか、Windows XP Service Pack2（SP2）をインストールしてください。

修正モジュール（KB822603）および、Windows XP Service Pack2の入手方法とインストール方法は、ご利用のパソコンメーカーにお問い合わせいただくか、下記のMicrosoft社ホームページをご参照ください。

・Windows XP SP1用USBドライバー修正モジュール（KB822603）
http://support.microsoft.com/kb/822603/ja

・Windows XP Service Pack2
http://support.microsoft.com/kb/322389/

参考:Windows XPのServicePackのバージョンを確認する方法

［スタート］－［マイコンピュータ］を右クリックし、［プロパティ］を選択し、［全般］タブを選択します。

ServicePackと記載してある箇所が、ServicePackのバージョンです。

●自動セキュリティー設定「AOSS/WPSプッシュボタン式」で無線接続したい（Windows XPをお使いの場合）

※親機および子機が「WPSプッシュボタン式」に対応していない場合は、AOSSで無線接続をおこないます。

1. 画面右下のタスクトレイにある アイコンを右クリックして、「プロファイルを表示する」を選択します。

2.

「WPS/AOSS」ボタンをクリックします。

3. 以後は、画面にしたがって接続を完了させてください。

右上へつづく

●自動セキュリティー設定「AOSS/WPSプッシュボタン式」で無線接続したい（Windows Vistaをお使いの場合）

※親機および子機が「WPSプッシュボタン式」に対応していない場合は、AOSSで無線接続をおこないます。

1. 画面右下のタスクトレイにある または アイコンをクリックします。

2.

「接続先の作成」をクリックします。

3. 以後は、画面にしたがって接続を完了させてください。

●AOSSで無線親機と接続できない場合

⇒AOSSで接続できないときは、無線親機と無線子機を近づけてから、再度AOSSで接続してください。

⇒無線親機に接続されているLANケーブルを、すべてはずしてから、再度AOSSで接続してください。

⇒セキュリティーソフトウェアなどのファイアウォール機能を無効にしてから、再度AOSSで接続してください。

※詳細な手順は、「ゲーム機をつなぐには※1」の中の「補足情報」→「ファイアウォール機能を無効にするには」を参照してください。

●パソコン同士をネットワークで接続する場合

⇒各パソコンにネットワークの設定が必要です。Windowsのマニュアルやヘルプを参照して設定してください。

※1 「補足情報」の「「ゲーム機をつなぐには」の読み方」（下記）を参照。

補足情報

●本製品を取り外す

⇒パソコンから本製品をそのまま取り外してください。Windows動作中でも、取り外すことができます。

●「ゲーム機をつなぐには」の読み方

⇒「ゲーム機をつなぐには」は、以下の手順でお読みください。

1.CD-ROM「WLI-UC-Gシリーズ設定CD」をパソコンにセットします。

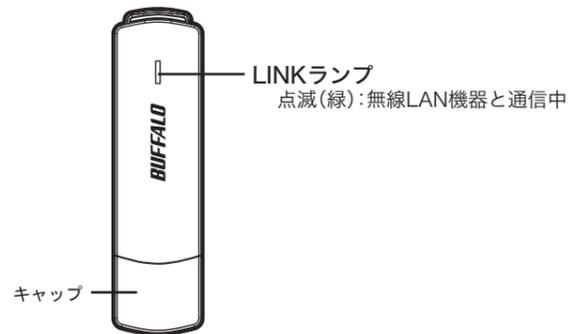
※お使いのパソコンによっては、「プログラムを続行するにはあなたの許可が必要です」と表示されることがあります。このようなときは、［続行］をクリックしてください。

2.［マニュアルを読む］をクリックします。

※「Adobe Readerをインストールしますか？」と表示されたときは、［はい］をクリックして、Adobe Readerをインストールしてください。

3.「ゲーム機をつなぐには」が表示されます。

右上へつづく

各部の名称とはたらき

製品仕様

項目		仕様
無線LANインターフェース	準拠規格	ARIB STD-T66（IEEE802.11b/g） 小電力データ通信システム規格
		無線LAN標準プロトコル　IEEE802.11b/IEEE802.11g
	通信方式	直接拡散型スペクトラム拡散（DS-SS方式）（IEEE802.11b準拠） 直交周波数分割多重（OFDM方式）　（IEEE802.11g準拠） 単信(半二重)
インターフェース		USB Revision 2.0および1.1準拠
対応パソコン（*1、2、3）		USB2.0または1.1規格準拠のUSBポート（タイプA）を搭載したDOS/V機（OADG仕様）
対応OS（*4）		Windows Vista(32bit) / XP
送信周波数範囲（中心周波数）		2412～2472MHz（全13チャンネル） ※基本的には携帯電話、コードレスホン、テレビ、ラジオ等とは混信しませんが、これらの機器が2.4GHｚ帯の無線を使用する場合は、混信が発生する可能性があります。
データ転送速度		54/48/36/24/18/12/9/6Mbps（IEEE802.11g） 11/5.5/2/1Mbps　（IEEE802.11b）
セキュリティー		WPA-PSK（TKIP/AES）、WEP（128/64bit）
電源電圧		5V （USBポートより給電）
消費電力		最大1600mW
動作環境		温度：0～40℃　湿度：20～80%（結露なきこと）
外形寸法/重量		21mm（W）×74mm（D）×10mm（H） / 20g

*1 デュアルプロセッサー搭載機種には対応していません。

*2 USBハブおよびUSB2.0インターフェースボードには対応していません。パソコンに直接接続してください。

*3 USB1.1のみに対応したUSBポートに接続した場合、無線での通信速度はUSB1.1の転送速度（12Mbps）未満となります。

*4 スタンバイ/休止状態には対応していません。

■電波に関する注意

● 本製品は、電波法に基づく小電力データ通信システムの無線局の無線設備として、工事設計認証を受けています。従って、本製品を使用するときに無線局の免許は必要ありません。また、本製品は、日本国内でのみ使用できます。

● 本製品は、工事設計認証を受けていますので、以下の事項をおこなうと法律で罰せられることがあります。

・本製品を分解／改造すること

・本製品の裏面に貼ってある証明レーベルをはがすこと

● IEEE802.11b/g対応製品は、次の場所で使用しないでください。
電子レンジ付近の磁場、静電気、電波障害が発生するところ、2.4GHz付近の電波を使用しているものの近く（環境により電波が届かない場合があります。）

● IEEE802.11b/g対応製品の無線チャンネルは、以下の機器や無線局と同じ周波数帯を使用します。

・産業・科学・医療用機器

・工場の製造ライン等で使用されている移動体識別用の無線局
①構内無線局（免許を要する無線局）　②特定小電力無線局（免許を要しない無線局）

● IEEE802.11b/g対応製品を使用する場合、上記の機器や無線局と電波干渉する恐れがあるため、以下の事項に注意してください。

1 本製品を使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局及び特定小電力無線局が運用されていないことを確認してください。

2 万一、本製品から移動体識別用の構内無線局に対して電波干渉の事例が発生した場合は、速やかに本製品の使用周波数を変更して、電波干渉をしないようにしてください。

3 その他、本製品から移動体識別用の特定小電力無線局に対して電波干渉の事例が発生した場合など何かお困りのことが起きたときは、弊社サポートセンターへお問い合わせください。

項目	内容
使用周波数帯域	2.4GHz
変調方式	DS-SS方式/OFDM方式（IEEE802.11b/g対応製品） DS-SS方式　（IEEE802.11b対応製品）
想定干渉距離	40m以下
周波数変更の可否	全帯域を使用し、かつ「構内無線局」「特定小電力無線局」帯域を回避可能

無線LAN製品ご使用時におけるセキュリティーに関するご注意

無線LANでは、LANケーブルを使用する代わりに、電波を利用してパソコン等と無線親機間で情報のやり取りを行うため、電波の届く範囲であれば自由にLAN接続が可能であるという利点があります。

その反面、電波はある範囲内であれば障害物（壁等）を越えてすべての場所に届くため、セキュリティーに関する設定を行っていない場合、通信内容を盗み見られる/不正に侵入されるなどの可能性があります。

BUFFALOの無線LANセキュリティーに対する取り組みについては、「ゲーム機をつなぐには」の「無線LAN製品ご使用時におけるセキュリティに関するご注意」をご覧ください。

■本書に記載された仕様、デザイン、その他の内容については、改良のため予告なしに変更される場合があり、現に購入された製品とは一部異なることがあります。

■本書の内容に関しては万全を期して作成していますが、万一ご不審な点や誤り、記載漏れなどがありましたら、バッファローサポートセンターまでご連絡ください。

■本製品は一般的なオフィスや家庭のOA機器としてお使いください。万一、一般OA機器以外として使用されたことにより損害が発生した場合、弊社はいかなる責任も負いかねますので、あらかじめご了承ください。

・医療機器や人命に直接的または間接的に関わるシステムなど、高い安全性が要求される用途には使用しないでください。

・一般OA機器よりも高い信頼性が要求される機器や電算機システムなどの用途に使用するときはご使用になるシステムの安全設計や故障に対する適切な処置を万全におこなってください。

■本製品は、日本国内でのみ使用されることを前提に設計、製造されています。日本国外では使用しないでください。また、弊社は、本製品に関して日本国外での保守または技術サポートを行っておりません。

■本製品のうち、外国為替および外国貿易法の規定により戦略物資等（または役務）に該当するものについては、日本国外への輸出に際して、日本国政府の輸出許可（または役務取引許可）が必要です。

■本製品の使用に際しては、本書に記載した使用方法に沿ってご使用ください。特に、注意事項として記載された取扱方法に違反する使用はお止めください。

■弊社は、製品の故障に関して一定の条件下で修理を保証しますが、記憶されたデータが消失・破損した場合については、保証しておりません。本製品がハードディスク等の記憶装置の場合または記憶装置に接続して使用するものである場合は、本書に記載された注意事項を遵守してください。また、必要なデータはバックアップを作成してください。お客様が、本書の注意事項に違反し、またはバックアップの作成を怠ったために、データを消失・破棄に伴う損害が発生した場合であっても、弊社はその責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

■本製品に起因する債務不履行または不法行為に基づく損害賠償責任は、弊社に故意または重大な過失があった場合を除き、本製品の購入代金と同額を上限と致します。

■本製品に隠れた瑕疵があった場合、無償にて当該瑕疵を修補し、または瑕疵のない同一製品または同等品に交換致しますが、当該瑕疵に基づく損害賠償の責に任じません。

らくらく！セットアップシート
2008年12月17日 2版発行　発行 株式会社バッファロー